

# 年度の主な取り組み

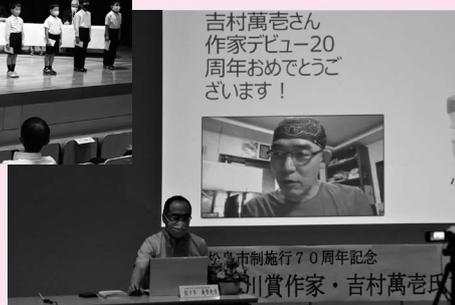
70周年記念事業を始め様々な取り組みが行われた年度でもありました。

## 市制施行70周年記念事業

令和3年6月1日、小松島市は市制施行から70年を迎えました。70周年を記念してサウンドハウスホールで記念式典が開催されたほか、芥川賞作家吉村萬壱さんによる文学トークショーや、書道家真滯さんによる書道パフォーマンス、明治時代からの小松島の写真を展示したあゆみ写真展など、様々な記念イベントが開催されました。



市制施行70周年記念式典(上)  
吉村萬壱さんによる文学トーク  
ショー (下)



## 新型コロナウイルス感染症対策

令和2年より続く新型コロナウイルス感染症の流行に対応し、市民の安心安全を守るため、令和3年2月に発足したプロジェクトチームが主体となり、新型コロナワクチン接種を推進。また、コロナ禍で疲弊した地域経済の活性化を図ることを目的に市民を対象とした地域商品券事業も実施したほか、感染症の2次感染防止が期待できる接触確認アプリ「COCOA」のインストール支援窓口を開設し、4,570人の市民の方へインストールの案内を行いました。



新型コロナワクチンの集団接種の様子

## 防災対策

津波発生時における地域の避難場所不足解消のため、令和3年10月29日に海上自衛隊と協力協定を締結し、災害時に地域住民の避難場所として自衛隊施設を利用させていただくことが可能となりました。

防災に対する意識を高め、災害に強いまちづくりを推進することを目的に、令和3年11月14日には坂野運動広場・坂野体育館で総合防災訓練を実施。約600人が参加し、いつ起こるかかわからない災害に備え、決意を新たなものとしていました。

また、市職員の災害対応能力を向上させるため、令和2年度から開始した職員防災士養成事業は令和3年度も引き続き実施。令和4年2月時点で、181人の市職員が防災士の資格を取得しました。

全国的な新型コロナウイルス感染症の流行が続いたこともあり、イベントの内容変更や中止を余儀なくされたものもありました。和田島町を中心としたコースを走るはずだった小松島「逆風」ハーフマラソンは、リアルマラソンの部が中止となり、文学トークショーは無観客での開催となりました。しかし、ハーフマラソンはオンラインマラソンが開催され、ランナーの交流促進につながったほか、文学トークショーはYouTubeでのライブ配信により、全国の文学愛好家の方々が関心を寄せるイベントとなりました。SNSを始めとする新たな手法の事業に挑戦した1年となりました。



オンラインマラソンの出場者にエールを送るゲストランナーの福島和可菜さん (中央)



機動隊による埋没車両救助訓練